

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設（1－84）、MOX 燃料加工施設（1－80）」

2. 日時：令和3年11月9日（火） 13時30分～15時05分

3. 場所：原子力規制庁 8階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理副事業部長 他21名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループリーダー

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料管理グループ マネージャー

大成建設株式会社 原子力本部 原子力構造技術部 第二計画室長 他3名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 12 月 24 日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和 3 年 10 月 22 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 11 月 5 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 11 月 8 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、いいと今回しました。
0:00:05	規制庁の武田です。それではただいまから、日本原燃株式会社とのヒアリングを開始いたします。
0:00:12	アンリツのヒアリングはAは2年12月に申請があった設工認申請につきまして、10月の22日、11月の1かえ及び評価に掲出があった資料をもとにヒアリングを行うものになります。
0:00:28	まず規制庁側の出席者ですが、本町バーナ出席者の紹介をお願いいたします。はい、本庁からモリノです。
0:00:37	はい、ありがとうございます。日まして、WEBからの参加がハバサキ石のカミデタケダ、以上になります。
0:00:48	それでは日本原燃のほうから出席者の紹介と議題の
0:00:53	コーセーなんか国の説明資料が説明会と達成目標について説明をお願いいたします。
0:01:01	はい、日本原燃中山でございます。
0:01:04	本日の3ヶ所でございます。
0:01:07	まず、事務局でございますけれども、再処理事業部折ムラノナガサワ
0:01:14	タカハシナカハマ 10ー
0:01:18	MOX事業の通り、タカマツタニグチ、イトウイシハラでございます。
0:01:25	説明者がございますけれども、フナコシ作況ウノ。
0:01:32	投下し、
0:01:34	イナズマカミデ海だ。
0:01:37	オガセ過ぎたヤマグチ。
0:01:41	ただ、
0:01:42	鶴田。
0:01:44	あと
0:01:46	山路審議の中、
0:01:50	あと大成建設様から石黒様、高橋さん、渡辺様、飛田さんまとめてございます。
0:01:58	本日のヒアリングでございますけれども、嘉門県させていただきます。
0:02:05	審査会合向けの容量耐震評価に関わる対応状況につきまして御説明さしあげます最初、少し説明さしあげます。そのあとにですね、耐震建物08番、中心応答解析における地盤モデル及び

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:23	ご承知の設定についての二つの資料御説明差し上げます。そのあとにですね、まだ資料を提出してございますけれども、設置こん対応における改善方針と今後の対応策。
0:02:38	こちらのほうの資料をですね、提出でき次第御説明させちゃんと担当を持ってございます。
0:02:46	よろしければパワーポイントのほうから御説明を差し上げたいと思いますけれどもよろしいでしょうか。
0:02:51	規制庁の武田です。
0:02:54	まず画面というされている②は、耐震建物ぜ。
0:02:59	両端と耐震基盤 01 も含んでいるということでよろしいですか。
0:03:09	日本はどうしてございます。本日いたしましては、耐震建物 08 のみ。
0:03:15	の予定となっております。
0:03:19	規制庁タケダですけども変わりました。では大変基盤 01 はまた別途つつうのはこれで回避開催するというでよろしいですか。
0:03:33	一般の出口に関しましては別途
0:03:37	また後日記載していただきたいというふうに思っております。
0:03:41	規制庁、川ですわかりました。
0:03:45	それでは 01 のほうからですね、パワーポイント資料のほうから説明をお願いいたします。すいません。すいません先にコサク調査官はこれ参加されましたので出席者についてお知らせします。
0:03:59	カミデさんすいません、お願いします。
0:04:02	すいません規制庁コミュニティですか。③番で、その全体のヒアリングという全体の改善方針ということだったんですけど、ちょっと規制庁側への確認になってしまうかもしれないんですけど。
0:04:20	このヒアリング等別個のヒアリングで設定するのかと思ってたんですけど、当時でやるっていうことでよろしいんですけど、いや、すいませんコサクですけど何っていうか、
0:04:33	ちょっと今から入ってきたばかりなのでよくわかんないんですけど、原燃は何を考えてるんですか。
0:04:40	はい、日本連盟ナカハマでございます。10月29日に御説明差し上げました。
0:04:48	この改善方針と今後の対応策でございますけれども、資料になる審査させていただきますね、改めてご説明させていただきたいなと思ってございました規制庁コサクですけど、何ていいかわかんないんですけど、29日にヒアリングしましたっけ。
0:05:07	29日は全面ナカハマでございます。うち9日。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:12	面談をさせていただけたところでございます。
0:05:15	そのときも御説明差し上げた資料を等倍するかけまして御提出させていただくという。
0:05:23	ご答弁本日説明。
0:05:25	助けいただく店舗で思ってございました。はい、規制庁の古作です。面談をしましたけどヒアリングはしてません。
0:05:36	なんでそんなことは私が言ってるかわかりますか。
0:05:44	規制庁コサクです。わからないようだったら、ヒアリングと面談の違いを
0:05:49	説明してください。
0:05:54	どっちIRRモデルの中身でございます。ヒアリングにつきましては設工認に係る事実確認の方でございます、当面だにつきましては経営これ日本連綿と規制庁さんとの認識合わせという形で認識してございます。
0:06:11	規制庁コサクですけど、認識合わせというか、そもそも申請の内容にかかわらない、作業の
0:06:20	何ですかね。
0:06:22	サトウ的な話とか、
0:06:24	制度的な話とか、
0:06:27	そういう技術的内容含まない。
0:06:30	内容について、地域規制者側と規制側で話をすれば、
0:06:38	ということです。
0:06:41	関連ナカハマです。了解いたしましてありがとうございます。
0:06:46	規制庁コサクですけど、そういう関係から 29 日は面談でやったということですけど。
0:06:53	今回は何か技術的内容入ってるんですか。
0:06:59	この減免ナカハマでございます。技術的内容については含まれてございません。
0:07:08	規制庁コサクです。そうするとどうなるんですか。
0:07:12	今回の被害日本原燃中山でございます。今回の避雷部分の縁切りとしては
0:07:19	人既設のものとなっておりますので、今回の件ヒアリングの中の議題としては削除させていただいて、改めて面談という形でお話が御説明差し上げたいと思います。
0:07:33	はい、規制庁の古作です。そのつもりで話をしましたので、その仕分けの考え方なりをよく認識をして今後

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:43	セッティングのですね、調整などをしていただきたいと思います。なので、このヒアリングが終わったら、もう休憩を挟んでぐらいですかね、進めるように検討いただければと思います。よろしくお願いします。
0:08:00	はい。
0:08:01	中野でございます。はい、了解いたしました。よろしくお願いします。
0:08:11	規制庁タケダですと、それではヒアリングのほうの議題の方入っていきたくと思いますので、①番の設工認申請に係る対応状況について説明をお願いいたします。
0:08:26	はい、日本原燃のオガセでございますので本日お配りしております資料のうち設工認申請に係る対応状況資料 1 というふうに語っておりますポイントの資料、こちらで御説明のほうさせていただきます。2 ページのところでは彼ら認識と今後の対応というところでして、課題二つ燃料加工建屋の入力地震動
0:08:44	いや別お金と液状化のところについて記載しているところですので、
0:08:47	こちらの中身について御説明をさせていただきます。3 ページ以降でよろしくお願いたします。3 ページでございますけれども、燃料加工建屋の入力地震動の算定方法に関するところですが今回の課題として①までの一番上に書いてございますけれども、黒線 9 解析の例適用の目安であるひずみ 1%、これを大きく上回るという話、あとはこの日
0:09:07	試験データに対して外挿範囲にあるというところ、これに対しまして単価の補足説明資料耐震建物 08 本日改訂版をお出ししておりますが、こちらにお示しておりました通りで、逐次非線形解析による確認で外性部分のパラメータスタディ見付きによる確認を実施するというようにしてございます。
0:09:25	これに対してこの表を確認の結果が 4 ページにありまして、結果といたしまして、この課題が入力地震動の算定結果に与える影響はないというところでまとめているところでございます。またこれは結果と中の影響がないというような課題に突合確認結果につきまして、ご当地のところで考察を追加して入れてございます。
0:09:44	コサクといたしましては、こちらが一番上と一番基礎したので、一番立ち会うと応答への寄与が大きい、基礎下レベルの入力地震動、こちらに着目いたしまして、そこに対しまして聴消火後反射というところにそれぞれ分けまして、それぞれのところで考察をしたというところでございます。
0:10:03	その結果といたしまして、燃料加工建屋の地盤モデルなんていう特徴に起因してこのような結果が得られてるというところでお札のこうまとめているところでございますが、御説明について地盤のところは以上でございます。
0:10:17	考えのイナズマです。引き続きまして 6 ページ以降について説明いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:21	ページ以降は安全冷却水冷却塔の加工の評価でございます。こちらにつきましては、6 ページ目からちよつと 8 ページ目でございますけれども、こちらの資料は先月 10 月 27 日にですね、ヒアリングにて、
0:10:38	説明した資料を今回の審査会合向けの資料という規定、タカハシレセプト変わってございますけれども大きくは修正はございませんので、9 ページでございますけれども、こちらの方にもともと弁閉のペアリング 27 日のヒアリングにおいて、文章で、
0:10:57	Aと書いていたところを今後合理化モデルを用いるとその妥当性を確認するために実施する事項を項目として分離してですね、実際に実施する順番に並べて整理したものでございます。
0:11:12	このうち、本日は評価しているところは、(1)のモデル化に対する確認というところで、1-1 から 1-4 まで項目ございますけれども、こちらのほうを 10 ページから 13 ページのほうに記載してございます。
0:11:29	そのうち、1-1 から 1-3 については実施済みでございます、結果、高温のすてきでというところでございます。ドイツのようににつきましては現在解析のところがありますので、13 ページをご覧くださいませます通り、
0:11:43	各頂部加工の各層に対する設計応答のせん弾力のほうを合理化モデルと相談を比較をして高齢化モデルのほうが保守的だということを示したいと考えてございます。
0:11:59	2 番目の検討としまして、設計構成、また液状化にトータルで確認って後で答えていては、液状化と日司の間のとどこでどのような音を示すのかということを示したいというところで、H4 ページに記載してアポ事項について検討しているといったものでございます。
0:12:18	最後に、その合理化モデルと詳細モデルのその保守的であるというところをどのような資料で確認するのかということについては 15 ページのほうで整理してございまして、各部材の
0:12:34	設計設定ですとかそういうところで用いる入力インプットに対しまして、まあそういったところに着目してですね、高齢化モデルのほうが保守的であるということを示したいというところで整理したというところでございますことにつきましては、現在解析中でございます、／が終わり次第、
0:12:50	その内容につきましては御説明発生いただきたいというふうに考えているところでございます。本日の説明資料の資料の説明は以上でございます。
0:13:02	規制庁の竹野です。三番と思っております。
0:13:06	それでは、収益状況。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:09	ニトリごとで等は決定囲みをしたいと思いますが、まず地盤モデルの設定につきまして、
0:13:16	規制庁側から確認等ございますでしょうか。
0:13:28	特に地盤モデルはふえ欲しいでしょうか。
0:13:32	規制庁ハバサキです。地盤モデルについては、
0:13:38	こういった説明かなというふうにはざっくり考えてますので、ちょっと詳細については次の08のほうで、またユーロ確認したいことはあるんですけども、
0:13:53	今ですね最終的な考察ということで5ページに書いてもらってるんですが、結局、これ適用範囲、医師の目安ということで考えられる1%を超えてるとか、外層ひずみレベル。
0:14:11	なお、国家曲線使ってるような話になるんですけども、それは基本的には問題なわけですね。ただ、その影響が原料加工建屋に関しては非常に小さいと。
0:14:28	だからある意味、そこはちょっと弱部といいますかね次年齢
0:14:35	ネゴレジ部分だという形で等、
0:14:38	今回の魅力度としては問題ない。
0:14:41	やっぱり事業者として判断したという形になると思いますので、旧5ページを、そんなニュアンスになってるんでいいかなとは思いますが、当流路としての酸素はそれでよろしいのでしょうか。関連のオガセでございますけども、ハバサキさんがおっしゃった認識の通りでございます。
0:15:00	はい。規制庁川崎です。今回燃料加工建屋がまたまたといいますか。そういう状況条件だったということで、今後こちら以降に関してもですね、見ては現象が起きた場合には十分注意しないけどというふうに考えますので、装填流用してください。私から以上になります。
0:15:19	日本原燃のオガセでございます。英語にご意見いただきましたけど、重々留意させていただきます。以上です。
0:15:28	規制庁時度ですその他地盤モデルについては、確認ございますでしょうか。
0:15:37	規制庁固相よろしい。
0:15:39	内容として今日はこういうことで、この考察の考えで影響小さかったんだということ。
0:15:51	何でしょうけど。
0:15:54	の結果として設工認の解析モデル
0:15:58	として、
0:15:59	これでいいんだという説明はどういうふうに、最終的に申請書をつくるつもりなんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:10	日本原燃のオガセでございます。最終的には使う結果といたしましては、現状経産省の方に期待している入力地震動というふうにはなるんですけども、やはり説これからのこういった課題を抱えた上でもそういった適応というところになりますので、地震応答計算書類で日そういった非線形性のところでそういった課題があるため、
0:16:30	別途確認をした上で具体的に今回お示しているような確認をした上で問題を使うことに問題がないことを確認しているというもので仕事計算書のほうに記載を追加したいというふうに考えてございます。
0:16:44	規制庁コサクです。
0:16:47	何ていいですかね、計算方法としてこうしますという話。
0:16:52	計算結果として、こういう地震動になりましたとか、こういうことになりましたとかっていうのを変えていくのっていうか書類が違ってくと思うんですけど。
0:17:04	今言われたのは計算方法のところに添付ない物資なり何なりっていう形でつけるっていうことですか。
0:17:16	日本原燃の浅井でございますためのコサクさんおっしゃいました通り掲載ページのところにへの記載を追加するようなイメージにさらにべしてこういった確認結果のほうをつけるといったようなイメージであの発言をさせていただきました。
0:17:30	はい、規制庁不足です。わかりました。また先ほど話し合った面談の上ですね、
0:17:40	申請書の書き方をどうして行くのかって言うヒアリングをまた再開していくことになれば、今お話をされたような
0:17:51	添付沿いというふうを書いていくかっていうことの議論をスタートすると思いますので、その際にまた具体的に
0:17:59	いければと思います。よろしくお願いします。
0:18:04	日本原燃のオガセでございますかしこまりました。
0:18:12	規制庁タケダです。その他地盤モデルについて規制庁側から何かございますでしょうか。
0:18:22	よろしければ飛来物防護ネット
0:18:28	今言うべき多く評価に関する部分の確認を進めていきたいと思います。
0:18:35	三つの徹底とブックページ以降ですねこの範囲につきまして規制庁側から確認事項等がありましたらお願いいたします。
0:18:49	規制庁のキシノですと8ページの説明なんですけれども、
0:18:55	左側にモデル図合理化モデルのモデル図がベビーカーに合理化モデルの特徴とかが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:02	こういったってですね、このページの説明っていうのは合理化モデルはこんなモデルですっていう過温というか説明から始まっているんですけども、説明の順番としては、合理化モデルを設定するにあたって、どういった設定をするか、どこが合理化できるけど、どこ。
0:19:23	できないといった、おそらく判断が入ってきていて、
0:19:28	そういった考えのもとでこの氷
0:19:32	だからモデルの絵と各種設定を決めているかと思しますので、やっぱり順番としては、合理化モデルの設定にあたっての考え方っていうのをまず
0:19:43	示していただきたいと思っていますので、具体的にどういうものを追加するかといいますと、本来であれば、詳細なモデルで評価を進めるところを今回合理化モデルを作っているわけですので、
0:19:59	詳細モデルとの差分をですね、すべてリストの形でちょっと列挙していただいていますので、それに対して、それに対して、それがどういった考え方からこの設定になったのかという説明を
0:20:15	超えた表付け加えていただきたいと思っております。
0:20:20	そうすることですね、9 ページや 10 ページ以降に、そのモデル化に関する確認というものがあありますけどもそれに繋がっていくということ。
0:20:30	となるかと思しますので、まずはこの合理化モデルの設定の考え方とか方法設定した内容について、すべて書き出したいと思うのですが、いかがでしょうか。主旨に限ってましたでしょうか。
0:20:46	日本原燃の松本です。来市議会いたしました。おっしゃる通りの考え方について等々で示した上で結果を載せるべきかと考えてございますので、今ご指摘できました考え方、またその結果、また、
0:21:03	詳細モデルと高齢化モデルの差分につきまして、しっかり整理して、それちょっと前に考えるのかということをとまとめて 8 ページ。
0:21:13	につきましては、修正したいと考えてございます。以上です。
0:21:18	規制庁キシノですはいお願いします。差分についてということなんですけど、この 8 ページで記載されているもので差分としてすべてなのか、先週まで説明を受けていた内容との最後と見られるような気もしたので、ここで漏らさずですね。
0:21:37	すべて差分を書き出すようにしていただければと思いますから、あとその 9 ページ 10 ページでそれらのモデル設定についての検証を行っているわけですねそう検証との繋がりがりもちゃんと意識してですね、表にまとめていただければと思いますので、ちょっとそのようなシートをお願いしたいと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:59	日本原燃のイナズマしか入って欲しいといたしましたような観点で整理いたします。
0:22:07	はい、規制庁キシノです。私からは以上です。
0:22:14	規制庁の武田です。その他強化評価に関するにつきまして規制庁側からか。
0:22:22	わかりましたらお願いいたします。
0:22:27	規制庁の古作ですけど今 8 ページの
0:22:31	右下の(2)で、
0:22:35	地盤ばらつきの変遷の状況って書いてあるのは意味がわからないんですけど。
0:22:41	7ということなんでしょう。
0:22:52	という本件もサトウです。
0:22:56	液状化現象、
0:22:59	いや、
0:23:01	完全に液状化する。うん状態等、液状化しない状態、
0:23:08	定着させ、
0:23:11	すみません。それは液状化現象の平成の状況ですよ。
0:23:21	私が聞きたいのはそうじゃなくて、及びの後のばらつきの変遷の状況について聞きたいんです。
0:23:35	端的に言うとかこれ間違っ書いてませんかってことなんですけど。
0:23:39	ちょっと、
0:23:41	すみません大成建設高橋です。ここのところは地盤のばらつきの編製ではなくてですね、地盤の剛性の平成そう書こうと思ったところ、5 聞いてしまいました。申し訳ございません。以上です。
0:23:59	規制庁コサクです。今の剛性の変遷だとすると
0:24:04	それはどの範囲をどういうふうに振ってどう編成するっていうところ何を考えるということなんですか。
0:24:15	はい、大成建設タカハシです。今の地盤の剛性の点検というふうなところですね、今回の資料の中では、教授の剛性から、もう一つ、少しやわらかくなった状態というふうな形でマイナス α 地盤の
0:24:34	物性値をサンプルとして使ってどう
0:24:40	液状化の現象に変化があるか、そういうようなものを調査して、その結果を記載してございます。
0:24:49	以上です。
0:24:52	規制庁コサクですけど、液状化の変遷と、今も剛性のって言ってるのが、
0:24:59	どういう違いがあるのかっていうのがいまいちよくわからなくてですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:04	定時の 14 ページの
0:25:11	中ほどに括弧括弧Bって書かれている。
0:25:16	この二つです。今言われた防雪がバックアップへの御ですってという説明だったんですかね。
0:25:29	大成建設タカハシです。ええとですね、今言った法定の方は私もその通り括弧Aのほうのパラメーターですので、今回この系統の意図しているものというのがですね。
0:25:46	ことによって、解析の中で、
0:25:51	なんていうのが、
0:25:53	液状化の状況を
0:25:56	それから
0:25:59	5章としてですね、液状化のパラメーターとして、
0:26:05	液状化実施ちよつとごめんなさい、うまく整理ができない。
0:26:14	ppm
0:26:17	うん。
0:26:19	すいませんちよつと一度保留させてください。
0:26:22	規制庁コサクですわかりました
0:26:25	基本的にですね、非液状化から液状化というある意味除去負担が計算というだけではなくて、その間にいろいろな物性なり条件の変化があり、
0:26:40	どこが厳しいのか。
0:26:43	どこをポイントに置いて解析するのが設工認の耐震評価として適切かというようなことを分析評価をするという視点に立ったときに、
0:26:54	液状化の編成とか剛性の編成とかっていう、
0:26:59	ような表現に本当になるのかって思っていますね。変遷と言われても結局どこからどこか、検討範囲の考えは必要なので、そうしたときには、結局元に戻って1液状会長か。
0:27:14	間っていうことですか、ないんじゃないかなと思うと、それ一つのワードで整理ができてそれを検討するときの着眼点として、こういうパラメーターというパラメーターがありますよと。
0:27:25	言えばいいんじゃないかなと思ってたんですけど、まずその辺りも要望をうまく考えてですね、これ、今のページの
0:27:34	ごとに条件がまた微妙にばらついているので、その電力整理をして帰っていただければと思います。
0:27:41	以上です。
0:27:43	大成建設タカハシです。ありがとうございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:48	皆さん、言葉の表現的に適切な言葉を使っていなかったところもございましたので、この辺は修正変更して対応したいと考えております。以上です。
0:28:09	規制庁、上出です。同じく8ページで、
0:28:17	二次元FEMモデルの特徴で、その上部工をモデル化しないって書いてあって結局モデル化しますよっていうことになっていて、
0:28:29	それから、
0:28:32	12ページに持った説明があるんですけど。
0:28:36	本件いろいろヒアリングをやっていく中では
0:28:42	案としてつけないとかっていうのもあったと思うんですけど、介護保障お話を聞いていなくてですね。
0:28:49	あんまり途中の段階の説明を
0:28:54	絶対必要っていうわけではないんですけど、事業者としてはあれですか。やっぱり個々の説明は入れておきたいっていうことなんですかね。
0:29:08	日本原燃佐藤でございます。取下げの上部架構のせないということで、我々、スタートさせていただいて、そういうについても、
0:29:21	説明さしておりましたので、それをええろということもありましたのでちょっとここには記載をさせていただきます。
0:29:38	は確かにそういう意味ではその直接が本当に説明しようかっていうことについて、
0:29:46	ちょっといま一度関係者との整理をして記載内容については必要であれば修正させていただきたいと思います。以上です。
0:30:00	規制庁カミデです内容として説明されるのは別に構わないんですけど、最初にキシノから言ったように詳細モデルとの差分という形で説明をしていくと。
0:30:15	位置付けがおかしくなってしまうという位置付けでないことになってしまうので、そういう場合は一番を通して補足的にこういうところで妥当性も説明しますという形になるのかなとは思ってますので、
0:30:32	位置付けというか整備ということですね、検討いただければと思いますので、よろしく願います。
0:30:42	今日原燃サトウです承知いたしました。
0:30:50	規制庁か未定です。
0:30:53	あと、
0:30:54	ちょっと飛んでしまっって申し訳ないんですけど、13ページの進捗状況ってどうなんですかね。
0:31:07	今年のイナズマですね、こちらにつきましては解析的解析は大成建設さんに実施していただいてございまして、結果は今週には出てくると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:19	いう確認してございますので、審査会合時には、13 ページの少なくともですね、ここ加工の一層目から 4 層目までの寄託についてはお出しできるかなと思ってございます。
0:31:35	例えば今の弁当の勢力の検討状況について、
0:31:39	これで終わります。
0:31:42	大成建設タカハシです。今ですね日ナカガワさんのほうからこちら自体に一層、
0:31:49	それから 4 層目までの数値が出ておりまして、国との水平力が早ければ教授遅くても明日 12 月数値が出てくると考えております。以上です。
0:32:08	規制庁カミデです今後の話にもなるかもしれないですけど、開校に向けての資料提出PT1 提出時間等、そちらは資料を
0:32:23	反映する時間、そして設計内容をきちんと当然確認されたものをして、
0:32:33	我々に説明されるのでしょから、その確認する時間とかですね、そのあたりをどう考えてるか、もう一度説明いただけますと、
0:32:47	日本原燃佐藤です。
0:32:49	解析の数値については経営上ちょっと
0:32:56	ビジネスパーク結構出っ込み、
0:32:58	関して
0:33:02	この週末で間に合えば
0:33:05	しっかりとした数値としてお出ししますがもし確認が取れない場合はちゅえまあ試算というような形で
0:33:19	ちょっと注意書きを記載してお出ししたいというふうに考えております。
0:33:24	以上です。
0:33:33	規制庁カミデです。もうちょっと明確にいつ何をするのかってところで大成さんに与えている時間がまで自分たちの地下をこれだけで対応市場を
0:33:49	たつの倍率ですっていう形で、もう
0:33:54	もう今週も火曜日なので、整理されてるかとは思いますが、説明できませんか。
0:34:02	嫌みサトウです。そういう意味では遅くとも木曜日には会合資料として
0:34:11	フィックスしたものを出したと思っております。送別の目標まで行く検証ができない場合については、先ほど言ったような値、
0:34:24	こちらの計算途中というか踏む。
0:34:27	そういった注意書きを記載して
0:34:31	協議させていただきたいというふうに考えております。以上です。
0:34:38	規制庁カミデです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:43	もうちょっと時間を
0:34:45	ちゃんと余裕を持って検討したほうがいいんじゃないかなとは思いつつですね、
0:34:50	こういうところま 13 ページそういう形にするのってある／。
0:34:57	教育が入る入らない 2 個航路図と、
0:35:02	ここではどういうことを説明したいというか、
0:35:07	どうなればOKなんだっていうのがちょっとよくわからないんですけど、解説してもらえますか。
0:35:17	日本原燃坂本です。
0:35:19	そうですねすみません踏み込ん数値を扱う掛け金記載がちょっと足りないところがありました。
0:35:28	ここで合理化メートル、こちら側の国のモデル化しないときも辺りになりますので、この値が詳細モデルより大きければ、これからモデルの保守性を示せるものと考えますので、そういった記載もちょっと
0:35:46	あわせて、付け加えさせていただきたいというふうに考えております。以上です。
0:35:54	規制庁カミデですこれあれですね、濃いようモデルにすることどうかっていうことなんですよ。
0:36:04	ちょっとこういうの話行為をモデル校モデルに含むかどうかっていうのと 4 層目とか 3 層目とか情報の水平力に影響が出ることをあんまり明示的なアクセスの地中の中に
0:36:23	栗をBM要素で入れても入れなくてもあんまり変わるものじゃないとは思ってるんですけど。
0:36:30	ちょっとその辺がもう少し説明いただけますと、
0:36:36	表現サトウです。
0:36:38	そうでマルポチの二つ目にですね、ちょっとそういった意味合いの記載をさせていただいておりますKURIONルール化することによって、地中部でございませうが、構成が
0:36:53	拳がると、それに情報部加工の応答が詳細モデルではpcm証明されるんですけど、逆に遠くにモデル化しないことで剛性が小さくなって、
0:37:10	応答分布、この応答も上がるというような傾向を捉えようと今しているところでございます。
0:37:19	以上です。
0:37:30	はい、可能とりあえずいたいことは説明されてるっていうことです。
0:37:43	規制庁カミデです。その辺、もうあたりが入る資料入らない仕事ですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:51	もう少しよくわかるように、この結果の大小関係で、
0:37:58	何が起こるの。
0:38:00	学級のか、もう少しわかるように、例えばそのへ地中の話であってもその全体の剛性に関わるところなんだけどなところですね、わかるように書いてもらえればと思いますけど、いかがでしょうか。
0:38:19	表現サトウです。承知いたしましたも少しお送りをとることによる
0:38:26	影響がどういうふう
0:38:29	全体応答に表れるのかということを示すようにいたします。以上です。
0:38:39	はい規制庁上出です。あと、その杭が、
0:38:45	声を入れないっていうのは、その全体の剛性の企業だけでいいのか、要は杭の評価を
0:38:55	胆泥流れに流れに沿って杭の評価をするにあたっては杭をモデル化しておいたほうがやりやすいということもあるかと思えますけど、その辺の影響は特になんないということなんです。
0:39:14	日本原燃佐藤です。作り上げて動かしておけば、直接県道ループ数が3。規程それはそれで非常に作業としては
0:39:28	協力できるところがあるんですから、逆想像するがために戻りがどんだん形になって時間的な
0:39:38	ものが
0:39:43	悪くなると、そのトレードオフを考えたときに、国のモデル化は注力したほうが応答的にも保守的になるんであればそちらのほうがいいだろうというふうな判断をしておりました。以上です。
0:40:00	はい、規制庁カミデです。
0:40:03	で、その杭の評価にあたってはっていう意味だと受け取っ区イトウ水平力とか、リモデル化を聞ければいいだろうと。それより上の上部構造とかの話をする上では、
0:40:19	4層から一層の水冷却見て大きければも保守性価格。
0:40:25	いう形で考えているってことですか。
0:40:29	日本原燃佐藤です。その通りでございます。
0:40:32	以上です。
0:40:37	はい。規制庁カミデですとかにもした。
0:40:44	そうすると、設計、
0:40:50	14円市なんですけど。
0:40:57	ここも
0:41:00	結論の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:02	部分って言うんですかね。四つ目のポツのところがよくわからなくて、最初にお話ししてたようにその非液状化と液状化の状態を把握するっていう話。
0:41:16	でやっているのか。
0:41:19	もしくは、この4ポツにあるようですね、
0:41:23	ちょっと代表かっていうのがどういうものに使った評価の何だ代表は7日有効わからないんですけど。
0:41:32	何かこう代表を絞るためにやっているのか、あとはそのばらつきDDの代表を示すために、この評価をやっているのかということところはちょっと目的がよくわからない置かなくなってるんですけどその辺説明いただけますか。
0:41:54	という訓練サトウです。こちらではTHAI評価を選ぶということを目的にした解析ではございません。
0:42:04	今回
0:42:06	非液状化と完全液状化の途中の変遷状態の応答が／悪さをしていないかといったことを確認する上で、まずは下流代表者ということで、
0:42:22	従来から施設への影響が大きいと思われていた溶かす
0:42:26	接種SSC湾これ休憩、実施いたします。
0:42:33	やっぱC層を連れてには可能なるについても、おって、解析をして業務やる大費
0:42:45	評価検討が
0:42:51	何ですかね
0:42:53	違った形にならないっていうこともあわせて確認したいということで、丸ポツの四つ目をちょっと記載させていただいておりました。
0:43:07	はい、説明は以上です。
0:43:10	規制庁カミデです。そうすると、多分、
0:43:15	説明したいことは、一つ目のポツと二つ目のポツ、
0:43:21	特に二つ目のポツで2万円性質上状態っていうのはちょっと文言を整理したほうがいいと思いますけど、その液状化に極端でない状態にマーク使わないよっていうことを確認しましたっていうので、多分一体こと終わってて、そのあとの
0:43:39	3ポツ目4ポツ目は補足情報っていうか、3ポツ目なんか補足説明ページ、4ポツ目は
0:43:50	など進捗状況、途中なので注釈を打っているっていうことだと思うので、適用の注釈にするとかですね、あとは3ポツ目は、別の
0:44:03	所に価格であったり、文字サイズな離隔一応会計わかるようにするとかっていうので。そちらの説明が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:13	何が趣旨なんだっていうのがわかるようにですね、
0:44:18	設置料の見せ方を整理いただければと思いますけど、よろしいですか。
0:44:24	日本原燃佐藤です。はい。
0:44:28	責任のちよつとここでも表現の仕方が少し
0:44:33	明瞭じゃないということもありますので、カミデさんの御指摘も踏まえてですね、
0:44:40	やるべきであり、やるべきことをあえてたい内容を、それがわかるようなちよつと表現を
0:44:48	変更させていただきたいと思います。以上です。
0:44:56	はい、規制庁カミデですよろしく申し上げます、と私のほうからは以上です。
0:45:04	規制庁ハバサキです今の点関連して9ページのひょうご両括弧2のところですね、これが全くステップ1から3の話とは違う話だと思います。冒頭コサク調査官から指摘あった点は多分、取材は、
0:45:21	うちよ確認内容だと思いますのでですね、9ページの修正もあわせてお願いしたいというのが1点と。
0:45:30	あとちよつと14ページのほうでちよつと豪州資料修正されるんですけども、二つ目のポチで書かれていることって、下の図で、どういう意味。①と②を包絡されていることを確認したって、下の図の何をもってこれ確認した。
0:45:49	言われているのかちよつと説明してもらえますでしょうか。
0:45:58	はい。日本原燃佐藤です。
0:46:03	①が、すいません基準は別にして苦労を線になりますので、鳴海が液状化時中かということで赤実線になりますと、こういう二つ分を大黒センター、
0:46:20	赤字システムを中に
0:46:26	番の線と赤点線が入っていること。
0:46:38	中間状態でも応答がもうこういう我々が時としてとこうしている日議長がちよつとべき中間値イコールではないということ
0:46:52	おシミズしたいというふうになちよつとこんと表現をさせていただいておりました。規制庁ハバサキですとわかりましたの佐藤さん言われるよう、
0:47:05	をしたことはわかりますわかりました
0:47:09	それがSs日Coに関してはそうだったということなんでしょうけど、ちよつと非常にわかりにくいところですし、もともとこのO2-1のところでの目的とすることとも
0:47:24	ちよつとリンクをあわせてちよつとこの14ページに関してはしっかりと見直しのほうをお願いしたいと思います。
0:47:30	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:32	ただし、サトウです。承知いたしました。すいません規制庁の森です。今のサトウさんとハバサキさんもやはり取り入れてSSC湾のほうは全く言ったんですけど、Ssaの方って、
0:47:45	納まってるっていうことはこれいえるのかなのかどうかっていうのが今の話、有効だったんですけど。
0:47:52	溢水SIIAのやつを、
0:47:58	倒産おさまってるっていいですか、どういうふうに見ればおさまってるっていうふうにいえるのかというのはわかんないちょっと教えていただきたいんですけど。
0:48:05	うん。
0:48:08	日本原燃佐藤です。
0:48:13	赤字フィックション等黒実線。
0:48:16	で、括弧が出ている中に、
0:48:21	青と赤訂正が入っている。
0:48:26	こういう
0:48:27	もっと本を
0:48:32	沈殿槽としておりましたですんではい。
0:48:36	ために、例えば赤実線能を超える赤点線とかあるんですが、
0:48:43	そこは黒実線の中におさまっているということを確認できればそれで
0:48:51	業種とするようなそういう
0:48:54	考えのもとで実施しておりました。以上です。規制庁になるんです。ちょっと僕が気になったのは、ちょっとこの図の見せ方なのかどうかわかんないんですけど、
0:49:08	2のEのマイナス1乗のところってなんかをとか赤とかクロとかが何か見られてるんで、何かそこって判別つかないようなと思って。
0:49:19	てーが全部収まっていると本当にいえるんだろうかというのと、ここ1ヶ所だけがだめだったとしても何か設計事案は関係ないよねっていうことがいえるのかどうかっていうの。
0:49:30	もうちょっと企画になって頑張ってる質問させていただいたんですけど、これは安定した図が入り乱れているから重力保安なくなってるだけで、一応、サトウさんのおっしゃってるの全部この黒線か先月に収まっているってことはいえるってことは、
0:49:52	日本原燃佐藤です。
0:49:55	はい。うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:59	フローで車庫実践の中にもう入っているというふうに確認しております。それと ですね、乃至ってことですし、
0:50:11	引き続き、
0:50:12	ちょっと、
0:50:20	規制庁コサクですけど、包絡されてることを確認。
0:50:27	いう証券化ほんとにいいのかどうかっていうことも含めたと思うんですけど。
0:50:33	編成をちゃんと追ってるのかっていうのではなくて、単純に厳しいところ、この 二つがドツとの周期体でも厳しいもの、どちらが厳しくなるので、
0:50:48	評価をこれでいいんじゃないですかって言うだけの様な気がするんです けど、編成を見ていきますという
0:50:54	作業方針には合っていないような気がするんですけど、どう考えてます。
0:51:08	ただ、日本原燃佐藤です。ちょっと言葉の使い方として変遷というのがちょっと 適切なのをちょっと見直すが、ある意味両極端の係数。
0:51:22	の中に前形状からの漏えい等、
0:51:28	中途半端な状態で、そういったものが悪さをしないということを確認することを 包括し包括されてることで、
0:51:41	程度に落としておりました。
0:51:44	すみません、ちょっと
0:51:45	大成建設さん、何か補足があれば、すみませんお願いいたします。
0:51:53	大成建設の堀田です。今の佐藤さんがおっしゃられている通りというふうに理 解しております。以上です。
0:52:01	規制庁コサクですけど、そういうスタンスだからいつもちゃんと答えられないっ ていうことだと思えますよね。前の議題のやつも最後のページは考察してい うのがあって、いろいろと解析した結果として自分たちの
0:52:18	設置状況っていうのはどういう特性を持っているものなのかと。
0:52:22	いうことを理解し、その理解のもとに、こういうふうに評価するのがいいだろう と。
0:52:29	いうことを整理するのであって、結果オーライだというようなことっていうのは、 設工認としての説明としてはよくわかりませんねっていうことになっちゃうんじや ないかと思うんですけど、いかがですか。
0:52:48	日本原燃佐藤です。すみませんちょっと。
0:52:52	私の説明が下手なので、
0:52:57	よくないところがあるかもしれませんが
0:53:05	液状ガーッと中途半端に起こっているような状況を、これは今我々が評価しよ うとしている非液状開局あっち行ったことの交流の応答ではないということ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:21	ここでは確認したいということでこういった設計を踏まえて、解析のほうを実施しておりました。
0:53:32	規制庁コサク冊前期ません一定こと変わってないので、一生懸命言葉を変えようと思ってもしようがなくてもちよっと
0:53:43	私の言ってることの理解をちゃんとして、
0:53:46	本来何をすべきだったかっていうのを考え直さないと回答できないと。
0:53:52	まず、しかもですねそういう話をして浮かないと、これも代表班がどうこうとか床などの話もあると思いますけど、それでいいのかっていう議論だったり、そもそもこうやってパラスタの形で代表が変えていくとかっていうようなやり方自体もですね。
0:54:10	本当にそれでいいのかを結局
0:54:13	事象としての特徴をちゃんと語らないと、科学的技術的合理性を持った説明というのとはできないので、ちゃんとそこワークするってということだと思いますそういう説明を会合でしていただきたいと思っ
0:54:29	出ますができないならそういう質問するということになっちゃうわけなんですけど。
0:54:34	それでそういうのがないとですねその先ほど線が幾つか書いてあって、中間なんですというようなこと言われてましたけど、このパラスタがその本当に中間一通りを表してるのかっていうことすらわからないんですよ。
0:54:54	わかるならちゃんと述べてもらえばいいんですけど、今何かいえることあるんですか。
0:55:08	日本原燃佐藤で少々お待ちください。
0:55:29	日本原燃佐藤です。
0:55:33	この中間的なその状態Eについては地盤の来浄化の状態を表すような間隙水圧と呼ばれるようなそういうパラメータをしっかりと見て、
0:55:51	その状態。
0:55:53	確認の上、
0:55:56	こういった
0:56:00	中間的なその思う。
0:56:05	やはり液状化という言葉は良くないとは思いますがそういう状態をちゃんととらえているというふうな確認はしておりました。
0:56:14	以上です。
0:56:20	規制庁コサクですけどそういうことも含めてですね、どうい。
0:56:26	正常を考えればいいのかそれによってちゃんと層編成していく。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:33	状態っていうのをとらまえているのかっていうことはわかるようにしてもらわないと議論ができないので、考えてるっていうんだったら備えをちゃんと説明するようにしてください。
0:56:47	日本原燃佐藤です。コサクさんの御ご懸念ケーブルは、良好両極端の中にある状態がちゃんと網羅的にとらえられていることをどのように確認。
0:57:06	できているのかというところで、
0:57:11	消火
0:57:13	すみませんがちょっといま一度確認させていただきたいと思いました。
0:57:18	以上です。規制庁コサクですけどそういってもいいと思いますけどね。
0:57:27	皆さんの検討されてることが妥当だというふうにどうしていえるのかっていうのをちゃんとロジックを持って説明してくれというのが、さらに上流でいいってことで、
0:57:41	そこを考えると、この資料ができてるとはとても思えません。以上です。
0:57:51	手元に本件サトウです。
0:57:55	なるほど。
0:57:58	いわゆるや、検討すべきことをもう少し定量化してそれが網羅的になっているのかということもちゃんとオブす。
0:58:08	説明できるようなそういう表現で今一度ちょっと見直したいと思います。
0:58:13	以上です。
0:58:23	ちょっと規制庁のキシノです。同じく14ページの質問でやってすみませんけども、ちょっと目的についてもう1項をきちんと理解したいのでお聞きしたいんですが、先ほど非液状化と液状化の間の状態が悪さしない意向確認するのが目的ということだったんですけれども、
0:58:43	このページとの結論としては間ではお伝えしなかったっていうことを言うとしてるのかなと思うんですが、もし仮にその間の状態が一番厳しい応答与えるとなったら、これ以降のステップの検討っていうのは、
0:59:01	シミズ液状化と液状化の中間も状態で検討を進めるということも視野に置いてこの検討をやっているという理解でよかったですでしょうか。
0:59:14	日本原燃佐藤です。
0:59:18	そういった
0:59:21	設計パラメーターが一部でも出てくるようであれば解析ケースとして、それも取り入れた形で
0:59:33	評価進めようというふうに考えておりましたですんで
0:59:42	例えば今液状化の
0:59:46	ちょっと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:47	液状化抵抗曲線はおら口一番厳しい状態ってやっていますがこれが緊急を使った場合に、一部応答が大きくなる場所が出るようであればこの平均値とBF
1:00:04	設計も、
1:00:07	基本的なケースに入れて評価を実施するというような予定でございました。
1:00:15	以上です。
1:00:18	それぞれの中央執行わかりました。この結果次第ではこれ以降のステップに用いる条件っていうの追加するということも確認する目的にやられているということと理解しました鉄塔で一応この 14 ページの結論としては、
1:00:37	要望両極端の日液状化トク液状化で
1:00:45	代表できるんだと今までちょっと議論があったので、もう一度再精査されると思いますけども、現時点の資料の説明の国庫結論というのはそういうふうなことを書かれているということでもいいですか。
1:00:59	はい。これを正当性終盤ではそういう傾向が見られましたが、残りの波についても確認した上で、
1:01:13	ここの下の評価のほうは、まとめたいというふうに考えておりました。以上です。
1:01:20	成長のキシノです。それなんですけど、四つのポチで蒸気が代表かどうかは現在確認中っていう意味するところなんですけども、おそらく下のSs-AとSs-c番っていうの仮の代表が発表しまして、
1:01:36	よっては三つページ。
1:01:38	何か問題なさそうだとか言ってるんだけど、他も基準地震動全般を一応同じような確認をしますと、それによれば、国庫の結論が変わるかもしれないと。
1:01:54	まだ現実の結論が出せないということなのか、他の結果はまだ出てないけれども、見通しとしては、ほかの地震動でも同じ結論になるということようとしているのかどちらなのでしょう。
1:02:12	日本原燃佐藤です。
1:02:14	残りの駄目についても確認しておりますので、おそらく、
1:02:21	という言い方はあれですが、先生、は多くの周期体でもそうなので、
1:02:33	この政令覚えていなければ、ある程度見通しは得られるのかなというそういう、
1:02:42	考える持ってるのか確認を進めておるところでございます。以上です。
1:02:49	社長のキシノです。はい。
1:02:54	ある程度の確度を持って、見通しは立っているつもりだけれども、最終結論は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:00	全般をやらないとわからない状況にあるとそういうことですね、ちょっとちつきちつと機器
1:03:07	概ね外です。
1:03:09	はい。
1:03:11	質現場をやって検証せしていきたいというふうに考えておりました。
1:03:18	委員長キシノです。はい、わかりました。多分位置付けとか結論がよく一致を見ただけではわからなかったので、補足で確認をさせていただきました。はい。私からは以上です。
1:03:36	規制庁の徳田です。表 12 ページでちょっと確認をさせていただきたいんですけど。
1:03:45	右上のほうの二つ目三つ目でですね、
1:03:57	三つ目がですねあの上部架構の非線形時の周期体である 0.6 秒付近がジョブカフェ線形時の周期体であることから、という記載があるんですけど。
1:04:08	この上部の非線形時というのはざく拘束ブレースの非線形時の周期っていう理解でよろしいのでしょうか。
1:04:21	日本原燃佐藤です。おっしゃる通り所詮情報過去全体が非線形する責任があるわけではなくて、
1:04:29	控訴ベース方が非線形に入ったときにも周期体のことを行っておりますので、ちょっとここは適切なちょっと表現のほうに修正させていただきたいと思います。以上です。
1:04:45	規制庁タケダです。はい、その氷も下で、その辺ですね、
1:04:51	学則拘束ブレースの線形時の周期ということなんですけれど、
1:05:00	そのときにですね前回の審査会合の資料ですかね。
1:05:06	その資料見てますと、学則拘束ブレースが非線形なる口頭での固有周期が 1.1 秒ぐらいだというふうな記載があるんですけども、この違いって何なのでしょう。
1:05:22	はい。
1:05:24	下流建設タカハシです。
1:05:26	ダックコートブレースが先ほどのイトウモデルって言うで一層目に留め 3 層目と書いたものがあったと思うんですけども、一層目から 3 層目まで見た高速レーションの存在しております。山荘とも非線形化した場合tの
1:05:45	一番やわらかいであろう周期体になりまして、その場合、固有周期がやつ、1.1 秒。
1:05:53	で、実際には三つ同時に過労非線形化しない状態っていうのも存在してございますので、すべてが線形状態だと 0.4 秒の固有周期になっています。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:08	Aなどで実際には非線形化するって、周期体っていうのは 0.4 秒から 1.1 秒までのほぼ非線形学校つくブレースが非線形化した際の周期体そのように考えております。
1:06:25	今回グラフにはと 0.6 秒付近系赤いライト黒いラインのほうの逆転現象が起きてますので、その付近で 0.6 秒付近が今先ほど言いました。
1:06:43	学校とブレースが非線形化した 0.4 から機器展 1 秒の間があいている周期体だっていうことで、この文章は、このように期待しております。以上です。
1:06:58	はい。
1:06:59	規制庁の時田です。変わり得ました中ですね全部のコサクを拘束ブレースがこう工夫した場合の周期ではないけど、幾らかが
1:07:12	輻射場合の周期、あまり 0.6 秒に当たるということ、という理解で正しいですか、体制、検査タカハシです。おっしゃる通り、その通りでご理解で合っています。以上です。
1:07:27	データのタケダです。わかりました。そういう説明もですね、ちょっと含んでいた上で、御説明はのほう拡充していただければと思いますので、お願いいたします。
1:07:41	議論上イナズマですか、そのような方法で出発いたします。以上です。
1:07:51	規制庁の武田です。その他、規制庁側から確認はございますでしょうか。
1:07:58	規制庁補足です。今の 12 ページのその逆転する部分があるみたいな話っていうのは、左のモデル図のAのほうでやった場合にそうなるっていうこと。
1:08:13	だと思うんですけど、Bにしたときに、
1:08:18	はそれがなくなったっていうことなんですか。
1:08:28	はい。
1:08:29	日本原燃イナズマですか、ちょっとこちらにつきましては、スペクトルの図で言いますと、
1:08:35	赤いスペクトル図、こちらは合理化戻りですので、頂部応答
1:08:47	頂部構造を、
1:08:50	入れた場合です。
1:08:52	全部バックぐらい
1:08:55	日本原燃佐藤です。
1:08:58	コサクさんの指摘の通り、カミタイラ路線は今エルムと左上のモデルで通ってますんで、
1:09:08	左下のDのモデルになるとどうなるかっていうのは今あの文章途中でございますので、
1:09:20	こういったことが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:27	起きない。
1:09:28	ちょっと確認するとともに起きたとしてるわけでそれはもうモデル事業ちゃんと取り入れられてるといようなことを確認しようとして今しております。
1:09:41	以上ですはい規制庁コサクです。
1:09:46	Bさんからいいでしょうということにはならないと思うので、その辺りもちゃんと検証した結果を示していただく必要があると思うんですけど、介護で示す段階までいってないんだったらこういうことやってますってということで話をしてください。
1:10:03	はい、その上にサトウで承知いたしました。
1:10:12	規制庁竹野です。その他慶弔側から確認はございますでしょうか。
1:10:22	よろしいでしょうか。
1:10:24	それでは日本原燃の方からこの資料についての修正方針と深い処方の発言がなかったかの確認をお願いいたします。
1:10:35	はい、日販連イナズマでとまってページまでのところにつきましては、阿部ちゃん全体につきましてまずしっかり情報につきまして規制庁また原燃とも発言のかと考えてございます。修正につきましては、特に液状化、予備冷却塔の法令ぱんどこにつきます。
1:10:55	ご指摘いただいたところにつきましては、考え方等につきまして改めて8ページ等については、しゅんせつ後に付随するところも考え方等を整備して説明したいと考えてございます。
1:11:14	規制庁当たって別の地方先生につきましては、別途木曜日に、現在提出したいと考えているところでございます。以上です。
1:11:24	規制庁コサクです。ちょっと途中ちゃんと終えてなかっただけかもしれないんですけど、最後の10ページの一番最後のばらつきに対する確認は設定された代表班のみでっていうのも、
1:11:39	合理性はどこにあったんでしたっけ。
1:11:54	日本原燃佐藤です。
1:12:00	うん。
1:12:00	井浦委員が従来9言い方もあるんですが、地盤のばらつきについて評価する際のbarいたものを構築物系の評価の手順として、
1:12:18	まず前標準地盤でやってその中で一番影響が大きいものについて、ばらつき、
1:12:30	2番のばらつき、ここを行うという
1:12:38	そういった
1:12:42	ルールのもとやっておりましたので、それを今回も踏襲するという

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:50	ことでやっておりました別表ですんで
1:12:56	規制庁不足です。言ったことはわかりましたけど、その通常のそういうお作法でやってるというものと今回の評価しているモデルなり、
1:13:10	地盤なりの特徴っていうのは、これまでやったものと想定範囲内なのかっていうことの検証されてますか。
1:13:30	日本原燃佐藤です。
1:13:32	そういう意味ではちょっと側溝の
1:13:36	記載がちゃんとされていないので、その考え方は、今一度等を踏まえたところでこのばらつきをどう扱うのかっていったところは、整理して
1:13:51	きたいと思います。うん 10 秒ぐらいのままだからってというだけの説明にはしないようにいたします。
1:13:58	はい、規制庁コサクです。よろしく申し上げます。それがあるので、先ほど 14 ページでちゃんと特徴っていうのをアップしといてくださいという話をしてますのでよろしく申し上げます。以上です。
1:14:11	4 年目サトウです承知いたしました。
1:14:15	規制庁報先ですが、ちょっと今のにも関連するんですけども、15 ページの上から二つ目のポチ以降ですね、最終的に保守性を確認するためにはということ、放り込めると詳細モデルの比較をするんですけども、これに関しては、
1:14:34	大評価にて確認するってあるんですけども、これ基本ケースについてはすべて合理化モデルと詳細モデルで比較をするという、この各部材だとかに関してですね、そういう手順になる。
1:14:51	ですからこれは、
1:14:56	はい。
1:14:57	日本原燃佐藤です。はい。
1:15:03	代表はかわりに精製塔 SLC はだれば波について、スツすべての汚泥で示している項目のアウトプット色の文字のアウトプットを、
1:15:22	比較して
1:15:27	修正があることを確認いたします。
1:15:35	ピジョンとスターの北崎です。それで十分でしょうかということなんですけれども、
1:15:47	保守性の確認は基本モデルについて破断電波でやるのかなと思ってたんですが、来評価のみで、
1:15:56	比較しないということですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:59	規制庁コサクですけど、これもなんてすかね結論ありきみたいなことでいつも原電さん言われるんで、なんでそれでいいのかわからんちゆうことになると思うんですよね。やはり先ほど言ったように、
1:16:14	どういう波どういうこの地盤特徴というところを踏まえてモデル評価をすると、こういう状況になると。
1:16:23	いうのが詳細モデルであろうと合理化モデルであろうと、こういう特徴があるということであれば、その同様の特徴の中で、代表っていうのが決まるだろうと。
1:16:36	ということだと思うんですけど、その合理化モデルと詳細モデルがどういう違い、具体的なモデルの引き方の違いとかじゃなくてですね、影響としてどういうふうに出てくるのかということを見ようとしたときに見てもいないうちから、こっちが厳しいほうが反対側も厳しいんだみたいなことを言っても意味がないと思うんですよ。
1:16:57	なので、そういう分析ができるようなやり方ということを考えなきゃいけないのかなと。
1:17:06	思うんですけど、それも皆さんも特異なやり方とすれば1回やってみて、どれだけさらに検討が必要考えますっていうことなのかもしれないんですけど。
1:17:18	少なくともそういう発想で検討いただかないとですね審査会合で議論できないと思いますね。
1:17:30	劣化の上限サトウでございます。
1:17:34	代表班を選ぶにあたって、単にこの数字の大小だけじゃなくても、これが2が与えてる施設への影響も踏まえた上で、
1:17:51	それが代表として、適切かどうかと言ったような分析の
1:17:58	加えた上で、代表側のほうは、選定したいと考えておりましたので、
1:18:09	結果オーライというようなそういう出産もそのやり方を
1:18:16	せずにちゃんと根拠をもって、示すような
1:18:26	うん。
1:18:28	説明をいたします。
1:18:31	以上です。
1:18:37	規制庁コサクです。よろしく申し上げますでそういう話をさんざん1ヶ月がに關してもわからないんですけど、話をしていますね。
1:18:47	厳然だけだとどうしてもそういう発想で考えてるのかもしれないけど、書類としては表れてこない。
1:18:54	こういう会話の中でもうまく説明ができないと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:57	ということだったわけで、なので支援体制ちゃんとしますというような話があって、やっぱさんも会合に出させていただくというようなことになったりしていたわけですね。
1:19:09	その話の中でこういう資料づくり何でも電力支援を本体部でずっと入っていただいてってということだったと思うんですけど、この資料でもまだそこが10分生かされていないような気がするんですけど、どうなってますか。
1:19:31	日本原燃佐藤でございます。
1:19:35	ここにちょっとこの表現についてはやはり我々の中でもあるので、タカハシさん含めていろいろと議論があって、
1:19:45	ちょっとし、あまりもちろん多くして持っていくこともあったので、結果、
1:19:52	だけの表現には今回なっておりますが、そうではちゃんとした根拠をもとに、誣い評価を選ばなくてはいけないというような議論をさしていただいております。もう少しそれが転移どるような表現についてもう一度
1:20:12	考えてすぐにしたいと思います。以上です。
1:20:19	規制庁不足です。よろしくをお願いします。
1:20:36	規制庁の武田です。
1:20:39	それでは資料が修正されたの木曜日出て行くことということなんですけれど。
1:20:48	その後ヒアリングとかはやらなくても大丈夫でしょうか。何か希望割ありますでしょうか。
1:21:03	農業にちょっとですね。
1:21:05	できればですねお時間いただいて、金曜日にはコサクですね、さしていただきたいと規制庁コサクです。ちょっとたび重なった質問がいまいち私もピンときてなかったんですけど、審査会合用試料で介護の前日にヒアリングなんてあり得ないので、
1:21:25	影響のヒアリングで話したことをちゃんと普遍化したもので資料提示をしてください。その内容についてはヒアリングで議論ということにしたいと思います。
1:21:42	日本原燃相当年数承知いたしました。ええということで
1:21:46	うん。
1:21:47	木曜日に提出させていただきたいと修正版が提出させていただきたいと考えております。
1:21:57	はい、わかりました。お願いいたします。
1:22:10	それでは次の補足説明資料の確認に進めたいと思います。
1:22:16	それと、耐震建物0はつきりですよと、本社につきまして下のほうから説明お願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:25	はい。ウノのオガセでございます耐震壁のゼロ価値ある 10 として、本日、お出ししているものでございます。本日会計に当たりまして更新した箇所については掘って表紙のところの下に白いテキストボックスで記載をしているところでございます。
1:22:42	まず前回ご指摘いただきましたところの地盤物性のばらつき幅を設定するにあたって増されたボーリング結果等を参照するエリアの考え方を本文の 7 ページのところに記載しているというところ、また第 2 回申請この対象施設で地盤モデル設定の方針こういったところ、本文の 11 ページで記載しているというところでございます。
1:22:59	4 のところについてちょっと内容のほうだけ御説明簡単に御説明させていただきますが、光永たち燃料加工建屋の一番の非線形性に係る確認先ほど介護保険の資料でも御説明していたところですが、こちらが別紙 1-1 の 19 から 47 ページというところで見直しを全体的に欠けているところでございます。
1:23:18	内容といたしましてはそのうち通しの 37 ページ以降ちょっとご覧いただければと思うんですけども、
1:23:27	はい。こちら確認方法は非線形の課題に関する確認方法のところでございますけれども、前回のヒアリングでも御指摘踏まえまして、外層のパラスタのところですね、こちらにつきまして等価線形解析でも実施することとしていこうか、その結果まで含めてつけているというところでございます。
1:23:46	またこちらの 37 ページ同じくのところですが実施内容としまして、これまで前回バージョンには建家ごとに与える影響というような形で記載してございましたけれども、前回のヒアリングでも御指摘踏まえまして、入力地震動ペースでの御説明をさせていただくというところで、
1:24:02	ここで宣言をして後ろのほうで結果をつけているというところでございます。例えばでございますけれども、通しの 4546 ページなどがそれに該当しまして、入力地震動のところ各深さのオートスペクトルの比較をするようにいたしました。あわせて降雪につきましての地盤応答として記載しているというところ等々、これらに踏まえて直していると。
1:24:22	いうところでございます、またその他、ご指定ご指摘いただいている内容について修正をしているところございまして御説明につきましては以上でございます。
1:24:33	成長武田です。ありがとうございます。
1:24:36	労働それではアタカハシのための 08 につきまして規制庁側から確認がありましたらお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:44	規制庁ハバサキです。内容に関してはですねと確認しましたので、ちょっと3点ほど
1:24:51	懇コメントといいますか。また新規の確認事項ですけれども、まず37ページ、先ほどありましたけれども、とか変形の結果、解析の妥当性っていうで地形非線形
1:25:06	という形で比較してるんですけれども、逐次非線形解析の概要について記載してくださいっていう話を前回はヒアリングでしたかなと思うんですけども。
1:25:19	それ
1:25:21	今この資料にはないですか。
1:25:24	日本原燃のオガセでございます。そちらにつきましては40ページのと、
1:25:29	プロでございますけども、逐次非線形解析の手法というところでございますけれどもそこでなるべく細かに書いてきた通りでございます。規制庁技記述
1:25:41	例えばこれ今現地水位はどういう減衰を使った解析をされているんでしょうか。
1:25:48	日本原燃載せてございます資料につきましては、こちらの40ページのところに上から妊娠炉は受注行目ぐらいのところですね、逐次非線形解析では地盤の材料減衰として剛性比例減衰を定義するということで記載をしているところがございます。
1:26:04	規制庁ハバサキですその場合／9条、レーリー減衰を用いることが多いかなと思うんですけども、ここで御水量を採用した理由っていうのは何でしょうか。
1:26:16	日本原燃のオガセでございますから剛性比例減衰を定義を使った理由といたしまして、今回は枝にひずみ領域での話ということで変形量としてひずみがきいところについての着目して解析をするということで、そういったところが解析の目的としてありました。その時に厚生費度依存性遠い
1:26:35	いうところだと低周波設備長周期側で減衰が小さめに見込むというやり方ですので、そういった意味で第190の評価をする上では妥当であろうと今回この評価の目的に関しての構成比のほうが適切であろうというふうに考えた次第でございます。
1:26:51	規制庁浜崎です。今の説明で理解しました。そういうような話を含めてですねただ5cmましたっていうだけではなくてやはり今回の目的からこういうおから助言を採用したっていうことを記載してもらいたかったと思いますのですね今減衰の話をしましたけれども、
1:27:10	そういう特徴的なことがあればですね、こちらのほう記載のほうをお願いしたいと思いますが、それは可能でしょうか。日本原燃の場所でございます。北のほ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うから充実するようにいたします。以上です。規制庁ハバサキですお願いします。
1:27:25	もう1点は58ページ、これは例のひずみが最大になるところの位置の話で、今回追加してもらった58ページの下から3行目ぐらいのところですね。
1:27:41	逐次線形の場合は、最大値の1なその等価線形の場合と変わる。
1:27:51	多分境界域になって登録者所得のそその理由がここに書かれているというふうに思ってますので、それはその理由は投函線形
1:28:02	に比べて逐次非線形は明瞭な固有周期、固有周期が明瞭にちよつと卓越しないっていうふうに書いて記載されているというふうに理解したんですがそれでよろしいですか。
1:28:16	長瀬でございますが、今までハバサキためおっしゃったご理解の通りだと思って認識でございますピンチといたしましてはちよつと61ページのIIをちよつと見ていただければと思うんですけども、これらの等価線形での地盤のピークが出ているような伝達関数、
1:28:36	わけなんですけれども、実際の逐次非線形解析になりますとここまで展示館高校、
1:28:41	一応の地盤を考慮しているわけではありませんのでこれは別途細かく溶け棘するようなイメージでてくると思います。これ人ですのでこういうふうに扱う者で見せるというところにあまり意味がないのでちよつと今回はつけていないところなんですけども、二相って話をつけるとしたらそういうふうな一つの山に委託しないというような
1:28:57	と考えられます。そういったところにおきまして波との兼ね合いといいますか相性といいますかそういったところで特別全体のこの等価線形のこの61ページの四つ目にぴたっとこピークと地震卓越周期があるというようなことをするというようなところも影響が今回のような等価線形よりは薄まるだろうというようなところの考察でございます。以上です。
1:29:17	規制庁ハバサキです。まさに今言いたかったことを今岡さんの方にいただいたんですけど、61ページで言うと上ので立つか結んでコマ6秒と2次のところですね、がちよつと下のフーリエとも合ってるから、今回、
1:29:33	SEOに関しては、工事の2次モードば独立したっていうことで1人、説明として理解したんですけども、そうすると、この伝達関数自体が釣銭系だとこんな明瞭なフジノピークも出ないかなというふうに今説明があったというふうに思いますので、
1:29:51	ちよつと細かいかもしれませんがですねせつかく、そういう沢山すぐまたとめ止め支援わかりにくいっていうのが時らしいんですけども、この58ページの考

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	察を裏付けるずっていうものをやはりもってですね説明をしてもらおうと非常にわかりやすい。
1:30:10	少なくともだとかもあるんですけども、対応って可能でしょうか。
1:30:16	あと上げるのオガセでございます。かしこまりましたちょっと言葉として伝達関数という言葉を使うと、ちょっとそぐわないかもしれないので増幅率とかちょっと言葉変えるかもしれませんが同じノズルという意味で了解いたしました。以上ですね着席してお願いします。
1:30:31	最後今回基本趣旨が入力動への影響ということで、応答結果に関してはこの資料から全く、今回省略されてるんですけども、応答結果は何かほかの資料に添付するだとか、例えばこの資料のロープとかですかね、或いはベシ
1:30:52	の融資のか、ちょっとそういう形でA棟と結果を記載する予定っていうのはありますか。
1:31:02	日本原燃のオガセでございます。こちらですけれども建家の結果につきましては前回つけていたところでございますけれども、御指摘いただきまして地盤データベースにちょっと考察のほうまで結果と考察をまとめさせていただいて、それがちゃんと
1:31:18	結論までこの時間をイトウベースで話としては構築できていると考えておりまして、同じからこれ入力地震動は変わらなければ立てられても変わらないというところの話というのは、コサクのところでの地盤モデル等に行き、球部大きい基礎下レベルのところでの話としても、
1:31:34	言っているところでございますので建家とまでつける必要はないかと思って今回はちょっとつけていないという所地盤応答まで北のほうに留めているというところでございますこちらの意思としてはそういったところでございますしちゃうわけですが私の方からそういう表現をして申し入れをしましたんですね、本資料としては簡潔になっている。
1:31:53	と思いますけれども、せっかくでするので参考でもいいので、
1:31:58	前治っ建屋応答のほうですね、も影響が影響がないことが確認したということですね参考扱いでも何でも良い案内書低いんですけども、やはりちょっと
1:32:12	ページ記載のほうですね、経済の方をお願いしたいかなというふうに思いますが、可能でしょうか。南のオガセでございます。かしこまりましたねこの資料の参考の位置付けで建てられたのつけさせていただくことで対応させていただきます。以上です。
1:32:27	はい、規制庁側で件数お願いします。
1:32:30	私から以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:40	規制庁のときだけです。当初は1／括弧認定か教えていただきたいんですけど、当56ページですね。
1:32:52	どんどん判断力の4段落目辺りですけど、例えば3段落名ですね。
1:32:58	建家基礎底面レベルまでの上昇範に着目するという記載があるんですけど、
1:33:08	期中の応答というのは上昇も加工も含んでいると思うんですけど上昇にだけ着目することで可能なのでしょうか。
1:33:17	日本原燃のオガセでございますおっしゃっております。いただきました通り、トレンチ中のイトウ等の上昇畑確定反射の影響も出てくるものでございます。特に来という試験部での入力動というひとつそういうふうなことになるんですが、この駄目くらいおっしゃる通り上昇幅に着目しても検討しておりますけれどもそれとは別に、
1:33:36	下のほうで段落、その今の上昇範とこの次の段落ですね反射かに着目するところ、警察の方がいしているところでございますので、やっぱり今回の地震シャトルバスというのが下から鷹架層上がってきて、地表まで上がってそれが返ってきて最後入力動に
1:33:54	という形火線なっておりますので白くなっておりますのでそれぐらいのパスの部分で切り分けてちゃんと考察をしてあげるといことをしました。それによって、当社もこの燃料加工建屋の地盤もそれぞれの深さにおけるどういう岩盤が分布しているとかとかそういったところのDF切り分けた上で考察ができるかと思ひましてこういう記載と、
1:34:14	何か構成とさせていただいた次第です。
1:34:17	以上です。
1:34:19	規制庁の武田です。今の説明で理解
1:34:24	できますと、ありがとうございます。
1:34:27	私から確認は以上です。
1:34:31	その結果を確認事項形状側からございますでしょうか。
1:34:46	規制庁タケダです。消火の確認がなければはこの資料についての助成方針等諸般の発言がなかったかの確認をお願いいたします。
1:35:00	日本原燃のオガセでございますので出荷時小委員会の発言については今回ございません。ご指摘いただきましての修正点といたしましては、蓄水した環境解析のときのXa行政やってる時の理由というところを記載するというのと、あと例えば与党のこれ参考でつけるというところだというふうに認識してございますのでそちらのほう対応

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:20	すみません、ちょっとたけれアウトの候補につきましてうち部長とかあ、すみませんあとへの考察のところでも伝達関数のところにつきましてはその白抜きなんですか下がってきたところの考察のところの拡充というところのご指摘もいただいているところです。見直しにつきましては武夫とちょっと算定するところで、
1:35:39	枝管解析が入りますのでちょっと時間が見込みをしたいと思います、まず2週間程度及び
1:35:48	床未収環境ではちょっと目標年限を次の御提出するようにちょっと進めさせていただきたいと考えてございます。以上でございます。
1:35:58	1相のタケダです。ありがとうございます。
1:36:03	キトーそれでは本日のヒアリングで予定していただきたいとしては以上となります。
1:36:09	規制庁側から何か全体通してございますでしょうか。
1:36:21	特にないでしょうか。きっとそれでは日本原燃の方から何かございますでしょうか。
1:36:29	はい、どうもナカハマです。日本原燃側から特にございません。
1:36:36	所タケダです。
1:36:39	それでは患者さんのヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
1:36:48	どうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。